

「日本と世界が会おうまち・堺 2013」プロジェクト 実施要項

1. **主 催** 堺市博物館、大阪大学歴史教育研究会、
「日本と世界が会おうまち・堺 2013」プロジェクト研究会
2. **事業目的** 2013年（平成25年）9月14日から10月20日まで、堺市博物館では、中近世における国際交易での繁栄の歴史を持つまち・堺の博物館にふさわしい「南蛮文化」をテーマにした特別展が開催される。この機会に、大阪府内の中学生・高校生および市民を主な対象として、堺の国際交流等の歴史に関する研究発表会やシンポジウムを堺市内で開催する。堺は、古代よりアジアと国際交流を持ち、15世紀から17世紀においては、日明貿易、琉球貿易、南蛮貿易、朱印船貿易などで繁栄し、「日本のベニス」と呼ばれた。このような堺の国際交流等の歴史を学習・研究することにより、日本や世界の歴史に対する理解を深めるとともに多文化共生の心を育み、アジアをはじめ世界各地との新たな架け橋となる人材の育成をめざすことを事業目的とする。
3. **事業内容**
 - (1) **中・高校生による研究発表公募【別紙①公募要領】**
 - 大阪府内の中学生・高校生を主な対象として、堺の国際交流の歴史に関する研究を2013年4月から5月末まで公募し、(2)の教育セミナーで発表してもらう。
 - (2) **「日本と世界が会おうまち・堺 2013」教育セミナー（参加無料）**
 - 日時 2013年 8月11日（日） 10時～15時（予定）
 - 場所 堺市内会場（文化会館ホール、大学・高校講堂を借用もしくは堺市博物館地階ホール）
 - 内容 ① 中学生・高校生のグループによる研究発表
② 講評および講演 桃木 至朗・大阪大学教授
 - 備考 セミナー終了後、研究発表をした中学生・高校生を対象に、堺市内のフィールドワーク（バスツアー）を行うことで堺の歴史文化を体験してもらう
 - (3) **「日本と世界が会おうまち・堺 2013」シンポジウム（参加無料）**
 - 日時 2013年10月 6日（日） 13時～17時
 - 場所 堺市博物館地階ホール
 - 内容 ① (2)の研究発表のうち優秀なものを披露
② 堺の国際交流等の歴史に関する研究者によるパネルディスカッションなど（角山 榮・前堺市博物館館長、桃木 至朗・大阪大学教授ほか）
4. **後 援** 大阪府教育委員会